



新発田市立
加治川中学校
3学年便り
第33号
文責 石井
9月10日発行

「気炎万丈」 最高の体育祭！①

～Get your own gold medal～

「感謝と感動の体育祭」

3学年主任 石井 仁

今年の体育祭の特色は、4つあります。

1つ目は、6月の早い段階から「赤連合・青連合のグループ分け」をしたことです。良いスタートを切り、早くから体育祭の最高学年としての「自覚と行動」を高め、今まで以上に、体育祭の大成功へとつながりました。良いスタートをきりました。途中でだれることもなく、次から次へとチャレンジしました。

2つ目は、「体育祭連合対抗レクリエーション合戦」を2日に拡大したことです。1年生から3年生まで、共に一緒になって取り組み、互いを理解し合う時間を過ごしました。スポーツ系とゲーム系に分けて、自分を表現し、互いに支え合いながら活動ができました。当初、生活委員会の企画でしたが、壮大な企画になって、たくさんの委員会などからも協力してもらい、たくさんの喜びの場面が見ることができました。

3つ目は、「映画祭」です。これは、加治川中学校史上初のチャレンジです。ゼロからのスタートをするためには、クラスみんなで乗り越えなければならない「壁」が厚く、そして高いことに直面します。その時に、どのようなストーリーにするか、どのような配役が必要か、など「創造性」を発揮します。そして、何度も話し合いながら一つの方向性にもっていくための「探究」が始まります。そして、みんなで撮影や練習を行う「協同」活動が始まります。20世紀では、生徒の人口も多く、学校も「もっとできる」「もっとやれる」などと効率を求めることが主流で、「一つしかない答えを早く正確に求める」個人的な学習が中心でした。21世紀の皆さんは、少ない人口の中で生きていきます。みんなで学ぶことで「共同体」が出来上がり、世の中のしくみも「つながり」を大切とした、コミュニティー尊重の時代がやってきます。なので、「答えは無数にある、ない答えを見つける」学習も大切になります。「映画」は答えが無数にある学びになります。テストのように、「○」・「×」という学びではありません。慣れない中でも、一生懸命取り組み、「予想以上のハッチャケ？」を表現し、体育祭の勢いを増すことができました。やはり、コロナ禍の中でも、文化や芸術を消してはいけませんね。文化や芸術は、人の心も体も動かします。

4つ目は、新しく導入した「全校ダンス」です。全校がひとつになる瞬間、想像以上の喜びと感動がありました。体育祭のサプライズとして、笑顔で体育祭をやり終わった感謝と感動を、保護者の方々にも伝えることができました。ダンスの中心的リーダーの皆さんも、教え方や伝え方が本当に上手でした。練習側も気持ちよく練習することができました！

3年生の皆さんがリードした体育祭は、最高に盛り上がりました。次は、桜加祭に向けて、大きなジャンプをしてみましょ。たった一度しかない中学時代なので、、、、、！